

メディカルオンライン

大井 陽子

I. はじめに

メディカルオンラインは、学会誌・学術専門誌を統合し、文献検索、アブストラクト閲覧、文献の全文を提供する会員制の医学・医療の総合サイトで¹⁾、当院は導入から3カ月を経たばかりである(2008年3月現在)。以前より利用率の高かった医中誌Web Ver.4に直接リンクがはられているためか、医師からの質問や導入希望は度々あった。それを機に1カ月間のトライアルを実施したところ、予想以上の利用率や反応があったため、導入を決定した。

今回はメディカルオンラインの簡単な利用方法のほか、実際の利用者からの声を紹介する。

II. 概要と特徴

メディカルオンラインは、2000年に株式会社メテオインターゲート(2007年7月、株式会社メテオに社名変更)が開始したサービスで、日本国内の医歯薬看護学医療技術系ジャーナルの論文(全文)がPDFまたはFAXにて配信される。ウェブ上での文献検索の結果として、書誌情報や抄録にとどまらず、最終的な文献(全文)まで入手できる点が、医中誌WebやJDream IIと異なる大きな特長である。

詳細については会誌「病院図書館」に紹介がなされているので²⁾、そちらを参照されたい。学会誌だけでなく、学術専門誌にも数多く対応している(2007年4月末現在、学会誌384ジャーナル、一般誌179ジャーナル)。雑誌発行後、契約上一定期間経過後でなければPDF配信できな

い文献については、FAXで提供される。参考までに、多くの医学雑誌を抱える医学書院は独自でペーパービューサービスMJ-Finderを展開しており、メディカルオンラインには対応していない。

III. 契約方法

法人会員の場合、1文献ごとの従量制プラン、文献利用数上限をあらかじめ設定するパッケージプラン、利用数によらず定額制のフリーアクセスプランの3種類から選択する。当院が契約しているフリーアクセスプランの場合、ID・パスワード認証とIPアドレス認証の方法があるが、前者のほうが若干割安である。

ID・パスワード認証の場合、100個のIDとパスワード(どちらも変更不可)が与えられる。医師数が100名以下である当院では、医師それぞれにIDを割り振っている。このことにより、IDの配布や管理の手間がかかる一方、同一IDによる複数同時アクセスが回避できる、利用場所を限定せずインターネット環境がある場所ならどこでも(自宅でも)利用してもらえる、IDごとに利用統計を取ることができる、退職者による利用などの不正使用の発見・予防につながる、などのメリットが考えられる。ただし、前述のようにパスワードが固定されており変更できないため、ID管理において退職者などのID再利用に関しては一考を要する。

IV. 利用方法

まず法人会員用ホームページである、メディカルオンラインライブラリー(<http://www3>.)

おおい ようこ: 耳原総合病院 図書館

meteo-intergate.com/library/) からログインする (図1)。メディカルオンラインは個人と法人ではログイン画面が異なる。



図1 ログイン画面

ログイン後の手順としては大きく2つに分かれる。1つは、フリーワードによるキーワード検索をかけて文献を探す方法である。医中誌WebやJDream IIのように検索条件を細かく設定することはできないので、いちど検索をかけた後に同様の方法で絞り込みを行うか、検索ボックスにAND/NOTなどを利用した検索式を入力することが必要である (図2、3)。もう1つの方法は、雑誌名の一覧から該当誌を選択し、巻号を指定して文献名を表示させる方法である。一覧はアルファベット・50音順、分野別、学会・出版社別に、探しやすく構成されている (図4)。



図2 キーワード検索



図3 検索結果の一例



図4 分野別雑誌一覧

必要な文献を選択した後は、表示したい抄録 (アブストラクト)、全文ダウンロード (カラー/白黒) を選択してクリックすればよい。印刷、パソコン端末への保存も可能である。また、前述のようにPDF配信できない医学文献についてはFAXでの提供となるが、その場合には送信先の氏名、所属、FAX番号などを画面に指示されるとおりに入力すれば、平日の9:00~18:00であれば当日に送信される。

以上がホームページからの利用方法であるが、当院では上記の方法よりも、医中誌Webからのリンクを利用する人のほうが多いように見受けられる。医中誌Webで文献検索を行うと、メディカルオンラインに対応する文献にはアイコン (図5) が表示される。そのアイコンをクリックし、IDとパスワードを入力すると、

文献ダウンロード画面がすぐ表示される。当院はJDream II を利用していないが、おそらく同様の簡単な手順で利用できるのではないだろうか。

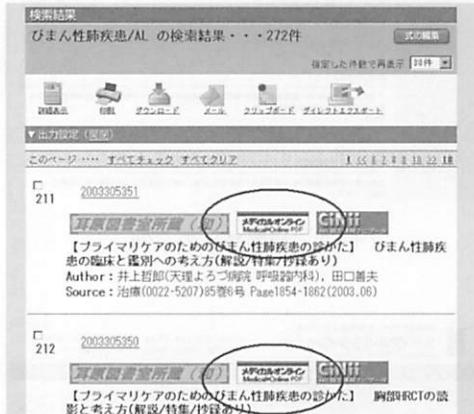


図5 医中誌 Web検索結果の一例

V. 導入による効果

前述したように、導入からまだ3カ月あまりという短い期間では、ILLの依頼件数減少など数値で表せるような具体的な効果は伝えることができない。しかし、利用方法に関する医師からの質問の多さや、株式会社メテオよりメールで送信される月次利用状況のデータを見る限り、医師が日常的に利用するツールとして早くも定着しつつあることがうかがえる。図書室や医局において利用している姿を見かけることも多い。

実際に利用者の感想を聞いたところ、その長所は①文献検索と同時に、つまり欲しいと思っているその時に情報が入手できること②図書室で雑誌を探す・コピーする・文献の取り寄せ依頼をするといった煩わしさがなく楽であること、③医局に限らず自宅でも使えるため時間や場所の制約が少ないこと、の3点が挙げる声が多かった(ただし、③は当院固有の事情である)。結果として、書誌情報だけでは必要かどうか判断できない論文にも実際に目を通すようになり、読む論文の量が全体として増えたと答えた医師も少なくない。

VI. おわりに

簡単な利用方法および利用者の感想を中心に述べてきた。

現段階においては、図書予算全体に占める割合は少なくはないものの、それに見合う効果があると言えるのではないかと考えている。それと同時に、検索機能の充実や、管理者によるパスワード変更、雑誌数の増加などの希望も徐々に生まれ始めている。導入間もない現在はまだ十分に機能を使いこなせていないのが実情で、導入の効果や問題点が現れるのはこれからだと思っている。利用者の声も聞きながら、よりよく活用できるように努力していきたい。

参考文献

- 1) メディカルオンラインホームページ。[引用 2008-03-04]
<http://www.meteo-intergate.com/index.html>
- 2) 吉岡誠：国内医歯薬看護学医療技術系ジャーナル論文配信サイトMedical*Online。病院図書館、2007 ; 27(1) : 24-7.